

特別公開講座

小説を書くということ

講師・中沢けい氏

2019年

11月19日 火

午後2時～4時30分

会場：東京労働会館地下

参加費：1,500円

一九七八年、「海を感じる時」で第二十一回群像新人文学賞を受賞、単行本がベストセラーになり、十八歳の大学生として作家デビューを果たす。

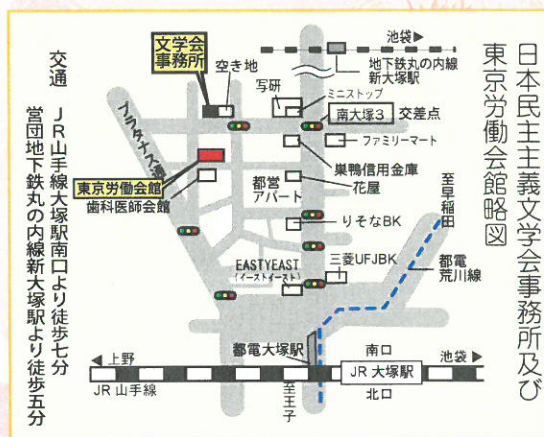
一九八五年、『水平線にて』で第七回野間文芸新人賞を受賞。他、「野ぶどうを摘む」「豆畑の昼」「楽隊のうさぎ」「麴町二婆二娘孫一人」など多数。現在、法政大学文学部日本文学教授。



講師の言葉

私はもう四十年以上も小説を書いてきました。今回は皆さまとともに改めて小説というものについて考えてみましょう。小説は、文芸の様々な要素を自由に取り入れられる散文形式の文芸です。私は最近、この形式をもっと自由に使ってみたくなっています。

当日読んで来ていただけるならば、『麴町二婆二娘孫一人』（新潮社）、『楽隊のうさぎ』（新潮文庫）を。



日本民主主義文学会事務所及び東京労働会館略図

お問い合わせ、お申し込み先

民主文学創作研究会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-29-9 サンレックス202

電話 03-5940-6335 FAX 03-5940-6339 E-mail=info@minsyubungaku.org